

費及家施出頭旅費規則、國民勤勞動員扶助規則、應徵士服務紀律及被徵用者表彰規程並＝醫療關係者徵用令施行規則、醫療關係者徵用令＝依リ地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ニ徵用セラレタル者ノ旅費ニ關スル件及醫療關係者徵用扶助規則ハ仍其ノ效力ヲ有ス

厚生省告示第百號

昭和二十三三月厚生省告示第二十三號（國民勤勞動員令第六條第二項ノ者指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第二十四號（國民勤勞動員令第十九條第二項第十二號ノ者指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第二十五號（國民勤勞動員令第三十四條第四號ノ者指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第二十六號（國民勤勞動員令第四十條第六號ノ規程ニ依ル事業場指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第二十七號（國民勤勞動員令第四十條第八號ノ者指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第二十八號（國民勤勞動員令第四十一條第三號ノ者指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第二十九號（國民勤勞動員令第五十六條第六號ノ者指定ノ件）昭和二十年三月厚生省告示第四十號（國民勤勞動員令施行規則第六十二條ノ場合指定ノ件）昭和二十年五月厚生省告示第四十九號（國民勤勞動員令第四條第一項ノ規定ニ依ル指定ノ件）昭和二十年五月厚生省告示第五十六號（戰時要員緊急要務令（以下令ト稱ス）第九條ノ規定ニ基ク同令ノ運用ニ關スル特例ノ件）ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年十月十一日

厚生大臣 芦田 均

四、勤勞配置規則關係

- 一 咎和二十年十月十一日厚生省令第四號（勤勞配置規則）
- 一 咎和二十年十月十五日厚生省告示第百二號（勤勞配置規則第四條第二項ノ場合指定ノ件）
- 一 咎和二十年十月十五日厚生省告示第百三號（勤勞配置規則第六條ノ規定指定ノ件）
- 一 咎和二十年十月十五日厚生省告示第百四號（勤勞配置規則第八條ノ求職者ノ範圍指定ノ件）
- 一 咎和二十年十月十五日厚生省告示第百五號（勤勞配置規則第十五條ノ證票指定ノ件）
- 一 勤勞配置規則施行ニ關スル件依命通牒（昭一〇・一〇・一二二、厚生省發勸第二二一號厚生次官）

厚生省令第四〇號（昭和二十年十月十一日）

勤労配置規則左ノ通定ム

勤労配置規則

第一章 総則

第一條 昭和二十年勅令第五六六號附則第五項ノ規定ニ基ク從業者ノ勤労配置ニ關スル命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二章 職業指導

第二條 地方長官（東京都ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ハ廳府縣ノ高等官中ヨリ職業指導官ヲ命ジ求職者ニ付テ就職スペキ職業等ニ關スル希望、就職ノ條件其ノ他就職ニ關スル必要ナル事項ノ調査其ノ他必要ナル職業指導ニ關スル事務ニ從事セシムベシ地方長官必要アリト認ムルトキハ學識經驗アル者ニ嘱託シ職業指導官ノ行フ事務ノ一部ヲ補助セシムベシ

第三條 地方長官必要アリト認ムルトキハ求職者ニ對シ其ノ就職前ニ於テ勤労適性検査又ハ勤労訓練ヲ受ケシムルコトヲ得

第三章 履入及就職

五二

第四條 工場、事業場其ノ他ノ場所（以下事業場ト稱ス）ノ事業主一月以内ノ期間ニ於テ十人以上ノ從業者ヲ雇入レントスルトキハ其ノ雇入ノ員數其ノ他雇入ニ關シ必要ナル事項ヲ豫メ雇入ヲ爲サントスル事業場ノ所在地ノ所轄勤勞署長ニ届出ヅベシ

前項ノ規定ハ別ニ定アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第五條 厚生大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ業種又ハ職種ヲ指定シテ女子等其ノ指定スル從業者ノ雇入、使用、就職及從業ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限アリタルトキハ其ノ禁止又ハ制限ノ範囲ヲ超エテ其ノ指定シタル從業ニハ其ノ指定スル年月日以後ハ其ノ指定シタル禁止又ハ制限ノ範囲ヲ超エテ其ノ指定シタル從業者ノ雇入、使用、就職又ハ從業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事理ニ因リ勤勞署長ノ認可アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項ノ指定ハ厚生大臣又ハ地方長官ノ告示ニ依リ之ヲ爲ス

第六條 厚生大臣又ハ地方長官ノ指定スル範囲ノ從業者ノ雇入及就職ハ別ニ定ムル所ニ依リ勤勞署長ノ紹介若ハ承認ニ依リ又ハ地力長官ノ指定スル團體ノ指示ニ依ルベシ

第七條 地方長官必要アリト認ムルトキハ事業場ノ事業主ニ對シ雇入ルベキ者及其ノ雇入ニ關シ必要ナル事項ヲ指定シテ雇入ルベキコトヲ得

第八條 地方長官厚生大臣ノ指定スル範囲ノ求職者ニ付其ノ者ノ就職確保ノ爲必要アリト認ムルトキハ事業場ノ事業主ニ對シ雇入ルベキ者及其ノ者ノ雇入ニ關シ必要ナル事項ヲ指定シテ雇入ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル雇入ルベキ者ノ指定ハ前項ノ求職者ノ範囲ニ依リ包括シテ之ヲ爲スコトヲ得
第九條 地方長官前條第一項ノ雇入命令ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ指定シタル求職者ニ對シ其ノ旨通知スベシ但シ同條第二項ノ規定ニ依リ雇入ルベキ者ノ指定ヲ包括シテ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル求職者ハ遲帶ナク前條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ就職ノ申出ヲ爲スベシ

第四章 解雇

第十條 地方長官ノ指定スル事業場ニ於テ使用セラル從業者又ハ事業場ニ於テ使用セラル從業者ニシテ地方長官ノ指定スル範囲ノモノノ解雇ハ解雇前一月迄ニ其ノ旨ヲ當該從業者ニ通知スル

ト共ニ當該事業場ノ所在地ノ所轄勤勞署長ニ届出ヅルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ事業場ノ指定ハ事業場ニ於テ使用セラルル從業者ノ數ニ依リ包括シ之ヲ爲スコトヲ得ズ
第一項ノ規定ハ左ノ各號ノ一一該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

一 法令ニ依リ解雇ヲ要スルニ至リタル場合

二 營業ノ譲渡其ノ他ノ事由ニ因リ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止スル場合ニ於ケル解雇ノ場合

三 日日又ハ三十日以内ノ期間ヲ定メテ雇入ル從業者ノ解雇ノ場合

四 其ノ他地方長官ノ定ムル場合

第十一條 前條ノ規定ニ依ル地方長官ノ指定ニ係ル事業場ノ事業主ハ前條第三項第二號ニ掲グル場合ニ在リテハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ解雇セントスル從業者ノ氏名、居住ノ場所等ヲ豫メ當該事業場ノ所在地ノ所轄勤勞署長ニ報告スペシ

第五章 雜則

第十二條 地方長官又ハ勤勞署長本令ニ依ル承認又ハ認可ニ付不正若ハ虛偽ノ事實アリト認ムルトキ又ハ特ニ必要アリト認ムルトキハ承認又ハ認可ノ取消ヲ爲スコトヲ得

第十三條 厚生大臣又ハ地方長官ハ從業者ノ雇入、解雇、使用又ハ賃金、給料其ノ他ノ從業條件ニ付事業場ノ事業主ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條 厚生大臣、地方長官又ハ勤勞署長本令ノ施行ニ關シ必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ從業者、事業場ノ事業主其ノ他ノ關係者ヨリ報告ヲ徵スルコトヲ得

第十五條 厚生大臣、地方長官又ハ勤勞署長本令ノ施行ニ關シ必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ關係事業ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ヲシテ別ニ定ムル所ニ依リ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

厚生省告示第二百一號

勤勞配置規則第四條第二項ノ場合左ノ通定ム

昭和二十年十月十五日

厚生大臣 芦田

一、日々從業者ヲ雇入レントスル場合但シ三十日ヲ超エテ引續キ雇入レタル場合ヲ除ク此ノ場合ニ於テ引續ク三十日間ニ雇入レザル日アルトキ其ノ日ガ從業者ノ雇入レラル事業場ノ公休日又ハ事業主ノ都合ニ依ル一齊休業日ナル場合ニ於テハ之ヲ引續キ雇入レタルモノト看做ス

二、三十日以内ノ期間ヲ定メテ從業者ヲ雇入レントスル場合但シ三十日ヲ超エテ引續キ雇傭シタル場合ヲ除ク此ノ場合ニ於テ雇傭關係終了ノ日ヨリ五日以内ニ再ビ其ノ者ヲ雇入レタル場合ハ之ヲ引續キ雇傭シタルモノト看做ス

三、營業ノ讓渡其ノ他ノ事由ニ依リ事業ノ承繼アリタル場合ニ於テ從前雇傭セラレ居リタル從業者ヲ引續キ雇入レントスル場合

厚生省告示第百三號

勤勞配置規則第六條ノ規定ニ依リ左通定ム

昭和二十年十月十五日

厚生大臣 芦 田 均

一、鑄工業ニ於ケル難役作業、土木建築業及運輸業ニ於ケル日々又ハ三十日以内ノ期間ヲ定メテ爲ス從業者ノ雇入及就職ハ地方長官ノ指定スル團體ノ指ノヲ受クベキモノトス

厚生省告示第百四號

勤勞配置規則第八條ノ求職者ノ範圍左ノ通定ム

昭和二十年十月十五日

厚生大臣 芦 田 均

軍人又ハ之ニ準ズベキ者（軍屬ヲ含ム）トシテ戰鬪其ノ他公務ニ依リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ固定シタル症狀恩給法施行令第二十四條又ハ第二十四條ノ二ニ規定スル傷痍ノ程度ニ達スルモノ厚生省告示第百五號

勤勞配置規則第十五條ノ證票左ノ通定ム

昭和二十年十月十五日

厚生大臣 芦 田 均

(表面)

勤勞配置規則ニ關スル臨檢票

五八

(裏面)

第 號昭和 年 月 日交付

官 職

厚生省、
府縣又ハ勤
務署印

名

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムルトコロニ依リ報告ヲ
徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ状況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシ
ムルコトヲ得
國家總動員法第四十二條 第三十一条ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌忌シタル者
ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
勤勞配置規則第十六條 厚生大臣、地方長官又ハ勤勞署長本規則ノ施行ニ關シ必要アリト認ムル
トキハ國家總動員法第三十一条ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ關係事業場ニ臨檢シ業務ノ状況又ハ
帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ當該官吏ヲシテ別ニ定ムル所ニ依
リ其ノ物件ヲ示ス
證票件ヲ携帶セシムベシ

註 本票ノ用紙ノ大きさハ國定規格A7判(24mm×105mm)トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折トス

五九

昭和二十年十月二十二日

厚生次官

各廳府縣長官殿

勤勞配置規則施行ニ關スル件依命通牒

今般十月十一日勅令第五六六號ヲ以テ國民勤勞動員令ハ廢止セラレ之ニ伴ヒ勅令附則第五項ノ規定ニ基キ同日厚生省令第四〇號ヲ以テ勤勞配置規則公布即日施行相成候處本則ハ國民勤勞動員令廢止ニ伴フ勤勞秩序ノ混亂ヲ防止シ特ニ復員者等ノ迅速圓滑ナル職業轉換ヲ圖ルコトヲ目途トツ（一）職業指導ノ徹底（二）職業斡旋ノ完遂（三）離職防止ノ強化ヲ主眼トシテ之ガ制定ヲ見タルモノニ有之其ノ運用ノ適否ハ現下國民生活ノ安定ニ至大ノ關係ヲ有スルモノト被存候ニ付テハ別紙勤勞配置規則事務取扱要領特ニ御留意ノ上之ガ實施ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段依命及通牒候

勤勞配置規則事務取扱要領

第一 總則

一、本則ハ國家總動員法第六條ニ其ノ根據ヲ有スルモノナルコト

二、本則ノ制定ハ國民勤勞動員令廢止ニ伴フ勤勞秩序ノ混亂ヲ防止スルト共ニ復員者等ノ圓滑迅速ナル職業轉換ヲ圖ラントスルモノナルヲ以テ之ガ趣旨ノ周知徹底ニ努メ之ガ施行ノ圓滑ヲ期スルコト

三、本則ノ施行ニ携ハル者ハ常ニ本則及關係法令通牒ヲ研究照應セシメテ其ノ末節ニ拘泥シテ大本ヲ誤リ又ハ煩瑣ニ墮シテ實效ヲ逸スルガ如キコトナキ様真ニ有效適切ナル運用ヲ圖ルコト

四、本則運用ノ成果ハ求人開拓ニ俟ツ處大ナルモノアルヲ以テ關係各方面ト常ニ緊密ナル聯携ヲ保持シ之ガ積極活潑ナル實施ニ特段ノ留意ヲ拂フコト

五、事務ノ處理ハ迅速的確ヲ期シ執務ノ態度ハ嚴正公平且ツ懇切叮嚀ヲ旨トシ苟モ強權ヲ以テ臨ムガ如キハ一切拂拭スルコト

六、本則ハ國、都道府縣ニハ適用ナキモ本則制定ノ趣旨ニ鑑ミ届出、報告事項ニ付通報ヲ求ムル等管内官公署ニ對シ協力方ヲ要望シ置クコト

第二、第二條及第三條關係

本規定ハ周到適正ナル職業指導ヲ行ヒ眞ニ適材ヲ適所ニ配置セントスルモノニシテ

一、職業指導官ハ關係部課長ノ外勤勞署長、地方事務所長等ヨリ適任者ヲ選定補職スルコト

二、職業指導官ノ行フ事務ノ一部ヲ民間人ニ嘱託スル場合ハ廣ク各方面ヨリ人格廉潔ニシテ職業指導ニ關シ造詣深キ者ノ中ヨリ選定スルコト

三、職業指導ニ當リテハ本人ノ希望、経歴、體位、家庭ノ事情等ヲ詳細調査シ適性検査ノ結果ヲ斟酌スル等慎重ニ之ヲ行ヒ獨斷ニ走リ其ノ適正ヲ缺クガ如キコトナキ様充分注意スルコト

四、求職者ニ對シ其ノ就職前ニ於テ行フ勤勞訓練ニ關シテハ簡易ナル技能ノ習得等就職ニ直接效果アル事項ニ重點ヲ置キ併セテ勤勞意慾ノ昂揚ヲ圖ルコト

第三 第四條關係

本規定ハ勤勞需要ノ狀況ヲ的確ニ把握シ以テ求職者ノ就職斡旋ヲ迅速圓滑ニ實施セントスル趣旨ニシテ其ノ要點ハ左ノ通ナルガ勤勞署ハ、單ニ届出ヲ待ツニ止ラズ進ンデ管内事業主ニ對スル求人開拓ヲ爲スコト

一、届出ハ別紙様式第一號ニ依リ其ノ都度之ヲ爲サシムルコト、但シ電話ニ依ル届出ヲ認ムル等簡易ヲ旨トスルコト

二、届出ノ受理ニ際シテハ雇入豫定數ノ全部若ハ一部ヲナルベク勤勞署ノ紹介ニ依リ雇入ル様指

導勸奨シ其ノ紹介ニ依リ雇入ルモノニ付テハ本條ノ届出ヲ以テ職業紹介業務規程ニ依ル求人申込ト看做スコト

三、本條ノ届出ニ付テハ其ノ趣旨ニ鑑ミ必ズ分類整理等ノ方法ヲ講ジ之ガ活用ニ遺憾ナキヲ期スルコト

第四 第五條關係

本規定ハ女子等ノ就職又ハ從業ヲ規制シ青壯年男子求職者ノ就職確保ニ資セントスル趣旨ニシテ

一、地方長官ニ於テ禁止又ハ制限スペキ業種又ハ職種ノ指定ヲ爲サントスルトキハ豫メ厚生大臣ニ稟伺スルコト尙制限ハ一定期日ニ於ケル女子等從業者ノ數ニ對シ其ノ何割ト謂フガ如キ率ヲ示シ其ノ範圍ヲ超ユル從業者ノ雇入、使用、就職又ハ從業ヲ禁ズル方法ニ依ルコト

二、禁止又ハ制限ノ指定アリタルトキハ事業主ヲシテ指定アリタル際使用中ノ該當從業者ノ職種別員數ヲ遲滯ナク當該事業場所在地ノ所轄勤勞署長ニ報告セシムルコト

三、右報告アリタル場合ハ雇入勸奨其ノ他ニ依リ速ニ青壯年男子ヲシテ代替セシムル様措置スルコト

四、禁止又ハ制限ノ適用除外認可ノ申請ハ様式第二號ニ依リ就職又ハ從業セントスル從業者及其ノ

者ヲ雇入レ又ハ使用セントスル者ノ連署ヲ以テ其ノ者ヲ使用セントスル事業場ノ所在地ノ所轄勤勞署長ニ對シ之ヲ爲サシムルコト

五、右申請ニ對スル認可ノ標準及其ノ方式等ニ關シテハ追テ指示スル豫定ナルニト

第五、第六條關係

本規定ハ、差當リ士木建築、運輸業等ノ日傭労務者等特ニ給源爭奪ノ虞アルモノノ雇入、就職ニ付地方長官ノ指定スル團體ノ指示ニ依ラシメ其ノ適正ナル配置及就労ノ規制ヲ爲サントスルモノニシテ一、本條ニ依ル團體ノ指定ハ財團法人勞務協會支部ノ設置ヲ見タル地方ハ當該支部ノ各分會ニ付之ヲ行ヒ其ノ他ノ地方ニ於テハ一應都道府縣勞務報國會支部又ハ分會ニ付之ヲ爲シ勞務協會支部機構ノ整備ニ伴ヒ漸次指定替ヲ行フコト

尙右指定ハ國民勤労動員令廢止ノ日ヲ以テ爲スコト

二、右ノ外日傭労務ニ關シテハ概ね從前ノ例ニ依リ措置スルコト

第六、第七條關係

本規定ハ復員者等特ニ就職確保ノ要アル求職者ニ付其ノ就職ヲ圓滑迅速ナラシメントスル趣旨ニシテ

- 一、雇入勸奨ハ左ニ掲タル範圍ノ求職者ニ付其ノ希望、經歷、家庭ノ事情等ヲ勘案シテ之ヲ爲スト
ト
- イ、傷痍軍人、軍屬
- ロ、終戦ニ伴フ復員軍人軍屬（昭和二十年九月六日次官會議決定ニ係ル殘留軍人軍屬ニ關シテハ九月十日附通牒ノ趣旨ニ依リ特段ノ考慮ヲ拂フコト）
- ハ、戦歿軍人軍屬ノ遺族
- ニ、終戦ニ伴フ徵用被解除者
- ホ、戦災者
- ヘ、終戦ニ伴ヒ外地外國ヨリ引揚ゲタル者
- ト、其ノ他地方長官ニ於テ特ニ必要アリト認メタル者
- 一、雇入勸奨ヲ爲スニ當リテハ苟モ倨傲獨斷ニ走ル如キコトナク事業主ノ希望等ヲ可及的斟酌スルト共ニ事業主ヲシテ雇入レラルベキモノトシテ指定サレタル者ノ就職ノ眞ニ必要ナル事情ヲ充分諒解セシムル等之ガ圓滑ナル運用ニ努ムルコト
- 三、雇入勸奨ニ關シテハ簿冊ヲ備付ケ雇入ノ日時雇入レラルベキ者、事業場名、雇傭條件等ヲ記入

シ當該事業主ニ捺印セシムルコト

六六

四、本條ニ依リ地方長官ノ行フ雇入勸奨ハ便宜勤勞署長ヲシテ行ハシムルコト

第七 第八條及第九條關係

本規定ハ特ニ就職確保ヲ緊要トスル求職者ニ付其ノ雇入ニ關スル事業主ノ甚ダシキ無理解ヲ抑制シ其ノ就職ヲ確實ナラシメントスルモノニシテ要點ハ左ノ通ナルガ本條ハ所謂傳家ノ寶刀トシテ發動セシムルコトナク専ラ關係職員ノ意ト努力トヲ以テスル雇入勸奨ニヨリ其ノ目的ヲ達スルヲ本旨トスルモノナルコト

- 一、雇入命令ハ第四條ノ届出又ハ職業紹介業務規程ニ依ル求人ノ申込ヲ爲シタル事業主ニ對シ甲ノ雇入ヲ乙ヲ以テ替ヘシメントスル場合ニシテ且ツ特別ノ事情ナクシテ雇入ノ勸奨ニ應ゼズ當該求職者ノ就職ヲ特ニ緊要ト認メタル場合ニ限ルコトトシ之ヲ取扱ハ特ニ慎重ナルベキコト
- 二、雇入命令バ様式第三號ノ雇入命令書ヲ雇入ヲ命ぜントスル事業主ニ交付シテ之ヲ爲スコト
- 右命令書ハ當該事業場所在地ノ所轄勤勞署長ヲシテ交付セシムルコト
- 三、雇入命令ヲ發シタル場合ハ其ノ結果ヲ明カニシ、之ヲ記錄シ置クコト

第八 第十條及第十一條關係

本規定ハ從業者ニシテ解雇セラルベキモノニ對スル職業斡旋ノ準備措置等ヲ講ジ急激ナル解雇ニ伴フ失業ノ發生ヨリ生ズル混亂ヲ可及的ニ防止セントスル趣旨ニシテ

- 一、第十條第一項前段ノ規定ニ依ル事業場ノ指定ハ個々ノ事業場指定ノ場合ヲ除キ同條第二項ニ依リ當時三十人以上ノ從業者ヲ使用スル事業場ニ付包括シテ之ヲ爲シ同條第一項後段ノ規定ニ依ル從業者ノ範圍ノ指定ハ差當リ第八條第一項ノ規定ニ依ル厚生大臣ノ指定（十月十五日厚生省告示第一〇四號參照）ト一致セシムルコト
- 二、指定ハ十一月十五日ヲ以テ之ヲ爲スコト
- 三、左ニ掲グルモノハ第十條第三項第四號ニ依リ前記事業場又ハ從業者ノ範圍ノ指定ノ際同條第一項ノ適用ナキモノトシテ除外スルコト
 - イ、從業者ノ責ニ歸スベキ理由ニ因リ解雇スル場合
 - ロ、一時（概ネ一週間以内）二十名未満ノ從業者ヲ解雇スル場合但シ十月十五日厚生省告示第一〇四號ニ依リ厚生大臣ノ指定スル者ヲ解雇スル場合ヲ除ク
- 四、第十條ノ届出及第十一條ノ報告ハ様式第四號ニ依リ之ヲ爲サシムルコト
- 五、右届出又ハ報告ヲ受理シタル場合ハ解雇ニ依リ失業スペキ者ニ付職業相談ヲ實施シ解雇ト同時

ニ他へ斡旋シ得ル様求人開拓其ノ他ノ準備ヲ開始スルコト

六八

六、第十條ノ解雇前一月トハ解雇ノ法律的效果ノ發生スル日ノ一ヶ月前ノ意味ナルコト

第九 報告關係

廳府縣ハ第四條ノ雇入ノ届出、第十條ノ解雇届出及第十一條ノ解雇報告ヲ別紙様式第五號ニ依リ取
纏メ毎月十日迄ニ前月分ヲ報告スルコト

第十 罰則關係

- 一、左ノ各號ノ一一該當スル場合ハ國家總動員法第三十六條ノ規定ニ依リ處罰セラルベキコト
イ、第四條ノ規定ニ依ル雇入ノ届出ヲ爲サザル場合
ロ、第五條ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ノ範圍ヲ超ヘテ從業者ノ雇入、使用、就職又ハ從業ヲ爲シタル場合
- ハ、第六條ノ規定ニ依ル紹介若ハ承認又ハ指示ニ依ラズシテ從業者ノ雇入、就職ヲ爲シタル場合
ニ、第八條ノ規定ニ依ル雇入命令ニ從ハザル場合
ホ、第十條ノ規定ニ依ル解雇ノ通知及届出ヲ爲サザル場合
- ヘ、第十三條ノ規定ニ依ル監督上必要ナル命令ニ違反シタル場合

- 二、左ノ各號ノ一一該當スル場合ハ國家總動員法第三十八條ノ規定ニ依リ處罰セラルベキコト
イ、第十一條ノ規定ニ依ル解雇ノ報告ヲ怠リ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル場合
ロ、第十四條ノ規定ニ依リ微ズル報告ヲ怠リ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル場合
- 三、左ニ該當スル場合ハ國家總動員法第四十二條ノ規定ニ依リ處罰セラルベキコト
第十五條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢検査ヲ拒ミ妨ゲ、又ハ忌避シタル場合

樣式第一號

卷之三

及其地名曰石稱

代表者

卷之三

卷之三

從業者ノ使用者ノ使用セントス		從業者ノ使用者ノ就職禁止(制限)適用除外認可申請書	
從業者ノ事業場ノ所在地名稱		事業者ノ種類	
申請理由		從事セシメント特殊事情 從業者ノ住所	
申請者ノ理由		トスル職種 從事セシメント特殊事情 從業者ノ氏名及年齢 備考	
從業者ヲ使用者ノ種類 從事セシメント特殊事情 從業者ノ氏名及年齢 備考			
右ノ通申請候也			
昭和 年 月 日			
申請者 氏 名 (印)			
労働署長殿 (記載心得)			
ハ該當セザルモノ抹消スルコト			
一、標題ノ「雇入、就職、使用、從業」又ハ「禁止(制限)」の文字			
二、「從業セシメント特殊職種」欄ニハ當該職種ヲ具體的詳細ニ記載			
三、「申請ノ理由」及「從業セシメント特殊事情」欄ニハ夫々其			
ノ事情ニ付具體的詳細ニ記載スルコト			

樣式第一號

(表面)
様式第三號

履入命令書	勤労署交付
在事業場ノ所 事業主又ハ氏 名	勤労署交付
履入命令書 氏名及生者ノ住所 從事セシムベキ場所 從事セシムベキ職種 履入ベルベキ年月日 履入ベルベキ年月日 備考	履入命令書 昭和年月日 昭和年月日 昭和年月日 昭和年月日 備考
事業主又ハ氏 名	事業主又ハ氏 名
在事業場ノ所 事業主又ハ氏 名	在事業場ノ所 事業主又ハ氏 名

履入命令書ノ交付ヲ受ケタル者ノ心得
一、受領書ニ受領ノ年月日等ヲ記入シ署名捺印ノ上直チ之ヲ
交付シタル勤労署ニ送付スベシ
二、指定ノ期日迄ニ履入ヲシ指定セル場所及ビ職種ニ從業セ
三)已ムラ得ザル理由ニヨリ指定ノ期日迄ニ履入レ難キ場合及
ビ履用關係不成立ノ場合其ノ理由ヲ證スベキ書類ヲ添へシ
所轄労働署長ヨ巡査ナク届ケヘシ

右受領ス	受領書
一、履入命令書(昭和年月日發付)	一、履入命令書(昭和年月日發付)
事業場所在地及名稱	事業場所在地及名稱
代表事業主又ハ氏 名	代表事業主又ハ氏 名
縣府縣長官氏名假	縣府縣長官氏名假

七四

様式第四號

解雇未定者届出(報告書)

者定未職就中定報解									
解雇未定男	人	同上中就職	男	人	差引就職	男	人	未定者數	女
解雇未定女	人	決定者數	女	人	未定者數	女	人	人	人
者總數	女	人	齡	地	齡	地	齡	地	齡
解雇未定男	人	別性	居	住	解雇未定男	人	解雇未定男	人	解雇未定男
解雇未定女	人	從業者氏名	年齡	地	解雇未定女	人	解雇未定女	人	解雇未定女
解雇未定男	人	解雇未定女	人	解雇未定男	人	解雇未定女	人	解雇未定男	人
解雇未定女	人	解雇未定男	人	解雇未定女	人	解雇未定男	人	解雇未定女	人
解雇未定男	人	解雇未定女	人	解雇未定男	人	解雇未定女	人	解雇未定男	人
解雇未定女	人	解雇未定男	人	解雇未定女	人	解雇未定男	人	解雇未定女	人

ル文字ハ抹消スルコト

(記載心得)

勤勞署長殿

昭和年月日

在事業場所
名稱事業主又ハ
代表表者
氏名

第十條ニ依ル場合、届出、第十一條ニ依ル場合、報告トシ該當セサ

様式第五號

從業者雇入、解雇届出狀況月報

縣府縣

昭和年月分

日 分 性 別	產業別								
	農業	水產業	礦業	工業	商業	交通業	公務	家事	計
雇入届	男								
雇入届	女								
解雇及報告	男								
解雇及報告	女								
計									
本月中ノ大量雇入又ハ大量解雇其ノ他特殊事項									